(1) 宇宙園芸研究センター

2023年1月、「宇宙園芸研究センター」を設 立。人類の安全かつ持続的な活動を可能とする 高効率な食料の生産・供給、資源循環型の食料 生産システムの研究に、本学で培われた植物の 閉鎖系栽培技術を応用することが期待されてい る.

(2) ハドロン宇宙国際研究センター (ICEHAP)

超高エネルギーハドロン (陽子、中性子等) の放射源と粒子加速メカニズムを、宇宙ニュー ション研究の連携を通して解明することを目的 として、「高エネルギーニュートリノ天文学」 と「プラズマ宇宙研究」の2部門により2012年 に発足。2020年からは千葉大学の看板研究セン ターとして研究・教育活動を推進するとともに、 世界の研究者コミュニティに開かれた研究組織 として運営を行っている。

(3) CHIBADAI NEXT (チバダイ・ネクスト)

千葉大学の研究に関する情報発信を行うオウ

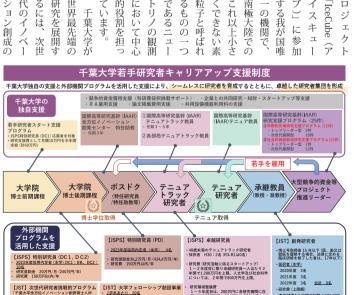
"より高きものをめざして"一層の学術研究の 強化と研究成果の社会実装を推進すべく、本メ ディアを通じ、全国の研究者、産業界、地方公 共団体、他大学など、学外のさまざまな方との つながりを創出している。

> 指して え、 チン開発のため 2022年8月 ワクチンの臨床応 葉大学は「ワ 次世 社会実装を目 います。

法の基礎研究に る新規粘膜免疫

ています。 的役割を担っ

研究を展開す 代のイノ るには、 -葉大学が ノベー世



【JST】大学フェローシップ創設事業 1<u>学年あたり 20名</u> 研究病念支援会 17万円/月 (204万円/年) 研究費 20万円/年 投業利免除



スの整備など、 ミック・リンク・センターや、英語 ブ・ラーニング用に転換したアカデ 専攻として学部を問わず履修可能と カルイノベー いるほか、 のためのイングリッ います ・ション学」を、 多 図書館をアクティ 角的に学生をサ シュハウ 全学副

視野の うこと、第2に、 間性の陶冶」という普遍的資質を養 かな教養に裏打ちされた全人的な人 報化した現代社会に積極的に参画で 運営され、 きる人材の育成を目指して きます 普遍教育科目 る興味・関心を喚起し、 第1に、 国際化、

社会的位置付けを理解する能力を養 個々が選択した専門分野の学問的 関心の深化と拡大を通して、 専門教育科目では、 ことを目的として 醸成」「批判的精神の涵養」「豊 広い視野から学問 専攻に応じ |幅広い 高度情 学生

活動を積極的に展開しており、 推進と研究 医学研究院では、 なテ 7 0 0 います ―治療学の研究の長い ーマに関する研究が進めら 人材の育成、 レベル研

アレルギー性鼻炎に代表で培った研究基盤を活用 性鼻炎に代表されるア 免疫学やアレ 疾患に対 伝統のもと 喘息

直接指導を受け

ることができます

体系的に知識、

技術、

技能を養う

最先端の研究に触れ

第

る研究者で

ある教員から

イエンス」、地方創生に係る「ロー わず求められる「数理・デ

門教育科 で専門的な知識やスキルを修得して 豊かな教養を身につけながら、 豊かな教養とスキルを修得普遍教育と専門教育科目で 目の2つの科目群を通して 普遍教育科品 高度

は全学の協力のもと

り 卓越大学院プログラムを実施して ほ 終的に、世界的な諸問題をどう解決 なってほしいと願っています」(中 る時に必要な力であり、 士課程教育リー るか考える力を養うことが重要で 「知識だけを得るのではなく、 ーとしての必須の条件でもありま 学部でその力をつけて卒業して 新しい価値を創造する人材 社会に出て自分が物事を判断す いと思います。 -ディングプ 大学院では、博 それはリ /ログラム

設置し、

世界最先端の研究を展開国際頭脳循環の中核拠点として

は

12か国52機関が参画する国際プ

ロジェク

승計 9名

直接経費を7 年間で総額 5,000 万F (上限)

人の研究者によってさまざ 産官学連携

の機関で、

であるニュー 粒子と呼ばれ 南極大陸での くできない素 これ以上小さ リノの観測

園芸学研究院では、 宇宙航空研究開発機構 宙園芸研究センタ レベル研究開発拠点の シナジー 2023年 -拠点と を

成事業」において、

して採択され

世界トップ

0) 「CHIBADAI NEXT(チバダイ・ 備を強化しています。 在が欠かせません。 スト) ③」では、 の整備・充実を図り、研究環境の整 0 2 2 月に開設し このため、

cn.chiba-u.jp)° 研究内容など研究者の情報を広く ぜひご覧くださ 千葉大学の最先端 (https://www

堅・若手研究者のさらなる飛躍を支 ログラムとを有機的に組み合わせた えるべく、独自の支援と外部機関プ い手である中堅・若手

料供給システムの創造、

特に廃棄物

ステムの構築に挑戦しています の有効活用による完全循環型生産シ

・ロン字

環境下での超高効率かつ持続的な食

月面農場」

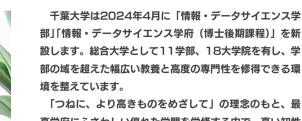
の実現に向けて、

宇

AXA)を中心に進められてい

る

|研究者キャリアアップ支援制度 中



高学府にふさわしい優れた学問を学修する中で、高い知性 と豊かな人間性を育み、グローバル社会で活躍できるリー ダーとして社会に羽ばたいてみませんか。

千葉大学

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33 入試課 TEL 043-251-1111代 https://www.chiba-u.ac.jp

教育を行 **先導的な大学改革を推進教育・研究・社会貢献を軸に** |大学院情報・デー 千葉大学は2024年 (後期3年博士課程)」 うものです。 タサイエンス学部」および います。

育成のための改革を展開してきま など、グロー 学の千葉大学キャンパス開設や、 者には修士 野を超えた教育課程を実施し、 との密接な連携のもと、既存の学問 これは、人文公兵学府、 大学院生の全員留学に取り組む 山俊憲学長は「教育・研究・社のためのでは (学術) の学位を授与 さらに、 海

なかやまとしのり 中山俊憲学長

1984年山口大学医学部卒業。88年東

京大学大学院医学系研究科第三基礎

医学専攻修了。専門は免疫学・アレ

ルギー学。千葉大学教授、同大学大

学院医学研究院長・医学部長等を経

て2021年より現職。

際学位プログラム」が始動しています から構成される実践的カリキュラ 術に対応する情報工学系専門科目 展を目指して国際学術研究院を設置 全国初の学位プログラム「総合国 全学的な連携のもとに構築し、 データサイエンスの基幹的 国際教養学部のさらなる発 バル社会で活躍する人材 タサイエンス学 融合理工学 を新設 修 育 課題解決の実装を目指しています た ン接種の会場として、地元の人々に 最先端技術が混在するエリアで、 として運用を開始しました。デザイ 元の具体的事例をテ ンや建築を学ぶ学生が、伝統工芸や インスティテュー コロナ禍においては、ワクチ

(デザイン・リサーチ

ト)」の活動拠点

国内の授業を受講し、

単位を取得す

るとともに、

長期の海外留学時でも

に変更し、柔軟な留学をサポー

ることができるICTを活用したス

トラーニング環境を提供して

ーマとした社会

コミュニケ

ション英語と専門教育

おける学術英語を組み合わせた新

地

ます。また、英語教育改革も進め

先進のグローバル「ENGINE」 ル人材を育成 プランで

を充実させています。

目を開講するなどグロー

-バル教育

英語を用いた専門

さらに日本を知り、

世界を知る学

単位数を拡充しています。

また外

いカリキュラムとし、

英語の必修

葉大学では20 -4月から、

究者が、 パスで、2021 せたいと思っています」と話します 域の誇りとしての千葉大学に成長さ 編・強化を計画しています。 置していましたが、若手・中堅の研 際的に卓越した研究強化のためにグ 急務で、そのために研究環境の整備 を推進します。 世界水準の学 旺盛な学生を育成するための教育、 ル社会で活躍できるチャレンジ精神 ニティなどへの幅広い貢献を果たし 社会貢献では、千葉大学を起点に教 もって活躍できるようなさらなる再 その社会貢献の好例が、墨田区に 医療、 地域ステータスを向上させ、 プンした墨田サテライト バルプロミネント研究基幹を設 よりいきいきとやりがい 産業、 術研究や社会に変革を 特に大学院の充実 4月に設置され これまで国 地域コミュ 、な研究開発 また、 ーキャン 地

月に

期・後期制から学事暦を6ター 躍する人材を育成することを目的と Е 学部・大学院生全員留学とスマ しています 力・自己表現力・コミュニケー 改革を三本柱として「ENG ラーニングの実践強化、 力を備えた、グロー 公立の総合大学 」 を スター 6年度に、 トさせました。 しては初となる これまでの バル社会で活 英語教育の

発信

自由で多様性あふれ

る教学環境の

ŧ

専門知」

「実践知」

を兼ね備え、

国内外の課題解決に資する人材を育成

dri (墨田サテライトキャンパス)

049 卓越する大学